



正しい知識で予防を

—エイズは増えています—

指導：千葉大学医学部附属病院感染症管理治療部 部長 佐藤 武幸

企画：
日本医師会

No. 340

エイズは検査をしないとわからない

エイズは、HIVと呼ばれるウイルスの感染が原因で免疫力が低下してしまう病気です。日本で毎年1,500人ほどの新しい患者さんが報告され、若年者を中心に現在も増えています。症状はかなり進行しないと出てこないで、血液検査ではじめて発見されることがほとんどです。そのため、知らないうちに感染している人はもっと多いのです。



早期発見

早期治療

匿名

原因のほとんどは性感染 — 予防が重要

クラミジア症などの性感染症の実数は、エイズの100倍以上と推定されますが、エイズ同様症状が乏しく、多くは本人が感染に気づいていません。性感染症があると粘膜障害によってエイズに感染しやすくなりますから、性感染症の予防はエイズの予防につながります。健康教育で正しい知識が広められることが重要です。

エイズ検査は無料・匿名とくめいで可能

自治体や保健所ではエイズ（HIV）検査と相談が可能です。無料・匿名でできますので積極的に利用しましょう。

エイズは、早期発見によって治療を始めれば、重症にならずにコントロールすることが可能な病気になりました。エイズにかかっていることを知らずに他の人にうつすことがないよう、心配がある場合にはぜひ検査を受けてください。